



file 03

お客さんの要望に応えるには、 信頼関係を築くことが大切です。

一級建築士 宮浦 渉



北政を思わせるたたずまいのやまざき歯科医院。



やまざき歯科医院の玄関ホールは、白を基調とした清潔感あふれる空間。



白と黒を基調としたお洒落なやまざき歯科医院内。



Y邸のアフター。白の塗り壁が人目を引く。



Y邸のビフォー。築42年の中古物件だった。

「信頼がないと何も始まらない」と宮浦さん。その姿勢は、約1年は費やすという打合せに表れている。この考えは宮浦さんが属する「電陽社建設」の特徴でもある。同社には、設計士や電気工事士、大工、デザイナーもいる。すべて自社で行えるのが強みだ。また、工法は在来工法のみであることも特徴。その理由は、壁や柱を自由に動かせるため、増築・改装ができる工法だからだ。だが、在来工法に固執しているのではない。来春、住宅会社を取り入れる時に新たな工法を取り入れる予定だ。

「痛みを感じさせない柔らかいデザイン」との要望から、イエローを基調とした住宅風の外観にすることで、女性が入りやすい歯科医院に。また、デザイナー的に風除室を省いたのも特徴。パターションの設置や空調計画などによって、冬も快適な空間を造り上げた。

風と光を感じるナチュラルな空間

同社の家づくりの基準は、「ナチュラル」。なるべく自然素材を使い、風と光を考慮しながら、中気密・高断熱の家を造り上げていく。その代表例が、この玄関ホール。大きな吹き抜けを設けることで、光がたっぷり入り、心地よい風が通る、快適な空間となっている。

女性が入りやすい歯科医院

「痛みを感じさせない柔らかいデザイン」との要望から、イエローを基調とした住宅風の外観にすることで、女性が入りやすい歯科医院に。また、デザイナー的に風除室を省いたのも特徴。パターションの設置や空調計画などによって、冬も快適な空間を造り上げた。

歯医者「怖い」というイメージを覆す

医院内のコンセプトは「女性に好まれる空間」。待合室から診療室に行く時に、他のお客さんが見えないよう設計することで「視線を遮ってほしい」という要望を実現。空間の広がりや個室感を味わえる診療室も魅力だ。また、扉をなくすことで、患者さんの不安感を排除した。

独自の発想が光る個人的なキッチン

奥様は料理研究家。料理教室も行えるよう、厨房には業務用を搭載した。また、床にはコンクリートの打ち放しに塗装を施すことで、掃除のしやすさに配慮。さらに、畜暖を入れるとともにコンクリートの下に断熱材を入れることで、冬も快適な環境を造り上げた。

奥様の思いに添えて中古から理想の家へ

中古住宅の骨組だけを残してリフォームしたY邸。奥様の要望から、古い柱や梁はそのまま活かして白く塗装した。その塗料においても「自然素材」との要望から自然に近いものが使われている。外観も内装も白で統一されているのが特徴だ。

家族との時間が仕事の原動力

宮浦さんの休日には、お子さんと遊ぶ日。自身のお子さんは1歳に満たないため、「高い、高いをしてあやすくらいですね」とパパの顔を見せる。仕事のことはずべて忘れて、家族と楽しい時間を過ごすことが、宮浦さんのパワーの源になっているのだろう。



白を基調としたシンプルなキッチン。



娘と遊ぶ宮浦さん。

宮浦 渉 生年月日:昭和52年10月17日 血液型:O型 趣味:ウィンタースポーツ 仕事におけるモットー:誠意を持ってお客さんと向き合うこと。

(株)電陽社建設 〒939-8216 富山市黒瀬北町2-2-1 TEL:076-491-8088 FAX:076-491-8089 E-mail:home-off@denyosha.co.jp URL:http://www.so-sunmaike.com/

一括資料請求 P393

ケータイから資料請求&問い合わせ

